

美山にこんな場所が!?大迫力の大杉群をめざして!

美山中学校芦生フィールドワーク



美山中学校 1 年生が芦生にある大杉を見に行きました。尾根沿いのアップダウンのある健脚向きのコースです。小学校を卒業したばかりの初々しい子たちがはりきって歩きました。

歩くのが得意ではない生徒もいましたが、ガイドの方々のチームワークでしっかりとカバーすることができました。

芦生にある大杉は、大昔、台杉に仕立てて利用したスギのことですが、幹回りが 10m もあるとても大きなスギです。そんな大きなスギがいくつもあるところがあります。美山っ子には美山にこんなすごい所があるということ一度は見たい、誇りに思っているということで、毎年歩いています。事前学習ではガイドの方に芦生の森についてのお話もして頂いています。

今回歩くところは、標高も 800m ほどありますので、ブナノキも生えています。ガイドの方々もたくさん説明しながら生き物のおもしろさや不思議を生徒たちに伝えます。

匂い、気持ちよさ、音、景色・・・森の恵みをいろいろな形で受け止めてもらえることができたと思います。

大木にキツツキが穴をいくつもあけている樹があり、生徒が「リコーダーみたい」と素敵な発想を教えてくださいました。

大きなスギは見上げると、その大きさがさらに迫力を増してきます。多くのことを子どもたちがそれぞれ持ち帰ってくれたらよいと思います。

今年は、そのあとに質問時間を設けました。グループで疑問に思ったこと、わからなかったこと、新たに気づいたことなどを質問してもらい、理解を深めてもらいました。多種多様な質問がありとても面白かったです。アンビシャ

スタイルでもグループごとの発表を聞かしてもらいました。一日だけの芦生行きでしたが、様々な形で芦生に触れることができたと思います。



9月25日に事前学習として、由良川・美山川の流れを地図で学んだり、みんなが飲んでいる水はどこから来るのかなどを学びました。

毎年、京都大学芦生研究林、芦生もりびと協会のガイドの方々、芦生山の家のスタッフ



など多くの方々にご協力を頂きながら行っています。ガイドの方々との打ち合わせでは4年生のみんなが自然に対してどんな興味を持てるのか、ガイドではこういった点を工夫したらよいのかなどを話し合ったりしながら準備を進めてきました。

今年は天気にも恵まれとてもよいツアーとなりました。毎年感じるのですが、美山の子どもたちは自然との距離が近く、森の中に入って歩き始めるとすぐに慣れてきて、一人一人が大人にはない感性と好奇心で様々な生き物たちに反応していきます。



キノコやコケにも「お腹いっぱいキノコ!」「フラワー!」などと名前をつけて、ちゃんと識別もしていきます。こうした観察力をもっと伸ばしてあげられることが

が出来たらよいと思います。

芦生研究林に特別な許可を得て、一人が一つだけ、心に残ったものを持って帰って良いことになっており、夜にはそれら持ち帰ったものをみんなの前で説明してもらいました。

ガイドさんに説明してもらったことを踏まえながら「・・・が面白いと思いました」と話してくれるのですが、なるほどそういうことが面白いのかと感心させられることがたくさんありました。



また夜は晴れていたので、校長先生が天体望遠鏡を使って星や月の観察をさせてくれました。クレーターもしっかり見ることができました。流れ星についてもお話をしてくださいました。

次の日は、トロッコ道を歩いたり、飯ごう炊さんをしたり、本当に貴重な体験をたくさんすることができ、子どもたちも大いに喜んで帰ったことと思います。